

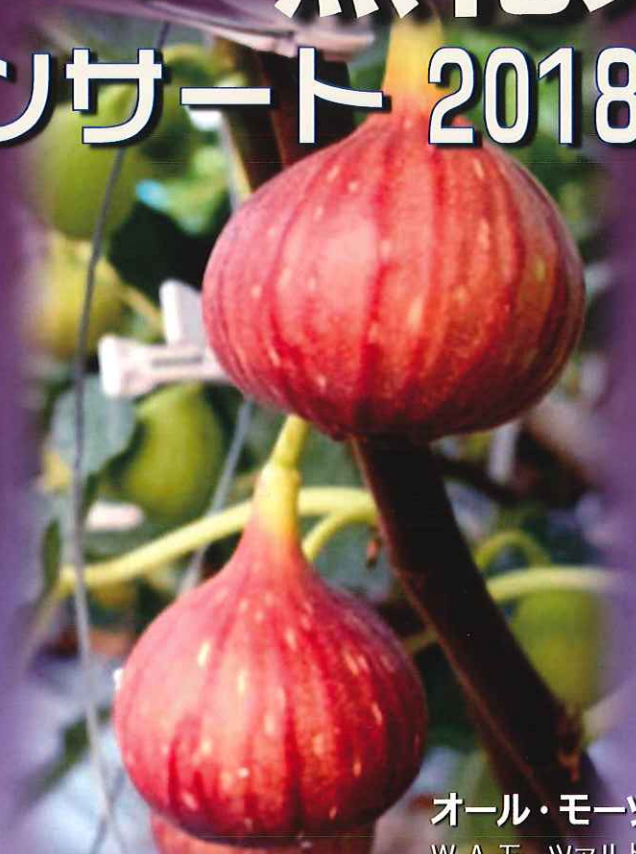
いちじく

りっとう 無花果 コンサート 2018

イニシャルM.Tの真相

いちじくと神童

そして運命の輪舞



オール・モーツァルト・プログラム

W.A.モーツァルト
アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.525
ピアノ協奏曲第 18 番変ロ長調 K.456
ピアノ協奏曲第 20 番 二短調 K.466 他

ご入場の方にもれなく
栗東いちじくをプレゼント!



フルート
雨林美由紀



ヴァイオリン
近藤昌子



ヴァイオリン
大谷聡子



ピアノ
塩見 亮



ヴィオラ
永久真里恵



チェロ
上田康雄



コントラバス
西口由子



脚本・司会
中野順哉

いちじく
りっとう無花果カフェ
当日限定いちじくケーキ
を召し上がれ



会館内カフェにて (有料)

2018年8月26日(日)

開演/午後2時 (開場/午後1時30分)

一般 2,000円・小中学生 1,000円 (全席自由席)

会場: 栗東芸術文化会館さくら 中ホール

主催: 栗東いちじく生産組合/りっとう無花果コンサート実行委員会

後援: 栗東市・栗東市農業協同組合・栗東市商工会

栗東市観光物産協会・滋賀県果樹組合連合会

滋賀びわ湖青果株式会社

協力: 株式会社 平和堂・Café Felice(カフェ・フェリーチェ)

パティスリー パレット・コンディトライ アキヤマ

サロン・ド・カフェ アプリ

お問い合わせ・お申込み:

りっとう無花果コンサート実行委員会

TEL: 080-1410-4146 (中井) FAX: 077-573-5748

E-mail: apo-musika@crocus.ocn.ne.jp

<http://www.ritto-ichijiku-concert.com/>

または栗東芸術文化会館さくら (窓口販売)

～ 運命を変えたイニシャルは ‘ M.T.’ ～

ピアノ協奏曲第18番変口長調 K.456

ウィーンにおけるモーツァルトによる初演。

神聖ローマ皇帝ヨゼフ2世は、彼の演奏に脱帽し、叫んだ—
「ブラヴォー、モーツァルト！」

その作曲から数週間—モーツァルトは、いまだ誰も達したことのない孤峰に挑もうとしていた。その心にある人の面影を追いながら…

音楽史を永遠に変えたといわれるモーツァルトの名曲誕生の裏に秘められたミステリーに鬼才・中野 順哉が挑む。



しおみ たすく
塩見 亮 (ピアノ)

京都市立堀川高等学校音楽科 (現京都市立京都堀川音楽高等学校)、東京藝術大学を経て渡独、マンハイム音楽大学大学院研究課程室内楽・歌曲研究科、芸術家育成課程、演奏家育成課程をそれぞれ最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。第47回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部1位。平成19年度平和財団芸術奨励賞、平成24年度大津市文化奨励賞、第24回京都芸術祭京都府知事賞ほか受賞多数。ソリストとして国内外のオーケストラと共演、また、室内楽奏者としてTVやFMへの出演、(勲青山財団より Trio Rintonare のコンサートに対して 2008 年度パロックザール賞を受賞するなど、共演者から厚い信頼を得ている。Trio Rintonare、Ensemble Vitra、Duo Schliigelzeug 各メンバー。現在、京都市立芸術大学音楽学部、相愛大学音楽学部、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。

うりん みゆ
雨林美由紀 (フルート)

同志社女子大学芸学部音楽学科演奏専攻卒業。同志社女子大学音楽学会《頌啓会》特別専修生修了。2007年、アメリカ・コネチカット州にて行われた Julius Baker Master Class において、第一位及び YAMAHA 賞受賞。2008 年同第二位受賞。2008 年、第1回 Jfos フルーツアンサンブルコンクール大賞(第一位)受賞。第19回 YAMAHA 管楽器新人演奏会他、多数の演奏会に出演。現在までにフルートを戸田茂、中務晴之、清水信貴各氏に師事。ピッコロを清水信貴氏に師事。現在、近江八幡市在住。

こんどう まさこ
近藤昌子 (ヴァイオリン)

京都市立堀川高等学校音楽科を経て京都市立芸術大学卒業。橋本寿子氏に師事。岩淵龍太郎監督・京都室内楽協会合奏団で活躍。90年～93年オランダ・デンハーグ王立音楽院留学。パロックヴァイオリンを S.クイケンに師事。サーティフィケートを取得。89年～97年東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパンで活躍。95年～97年大阪府立夕陽ヶ丘高校音楽科講師。95年より「近藤昌子・室内楽シリーズ・パロックの魅力」を開催。08年テレマン室内オーケストラで【クラシカル楽器使用】ベートーヴェン・交響曲全曲 CD 録音に参加。現在後進の指導、学生コンクール入賞者など多く育てる。におの浜弦楽アンサンブル主宰。

おおたに さとこ
大谷聡子 (ヴァイオリン)

第1回、第2回子供のためのヴァイオリンコンクール金賞及び奨励賞。10歳～12歳オランダ在住。ロッテルダム音楽院教授 A.ノバックに師事。同志社国際高校を経て同大学英文科卒業。05～07年パリ・エコールノルマル音楽院留学。演奏課程ディプロム取得。パリ UFAM 国際コンクール名誉部門3位。ニース・フランス、ロウンターヌなどの国際音楽祭マスタークラスを修了。08年テレマン室内オーケストラで【クラシカル楽器使用】ベートーヴェン・交響曲全曲 CD 録音に参加。これまでに辻井淳、故工藤千博、A.グラール、千々岩英一、J.ブーレ、森悠子の諸氏に師事。現在ソロ、室内楽、オーケストラで活躍。におの浜弦楽アンサンブル・アシスタント。

ながひさ まりえ
永久真里恵 (ヴィオラ)

京都市立堀川高等学校音楽科を経て京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。大学在学中にヴィオラに転向。2007-2013年、大阪交響楽団ヴィオラ奏者。2011年アフィニス音楽祭に参加。これまでにヴァイオリンを渡辺美穂、橋本寿子、亀田美佐子の各氏、ヴィオラを竹内晴夫、山本由美子、市坪俊彦の各氏に師事。現在はオーケストラ、室内楽、ソロ活動の傍ら後進の指導にも当たる。大阪音楽大学付属音楽院講師。

うえだ やすお
上田康雄 (チェロ)

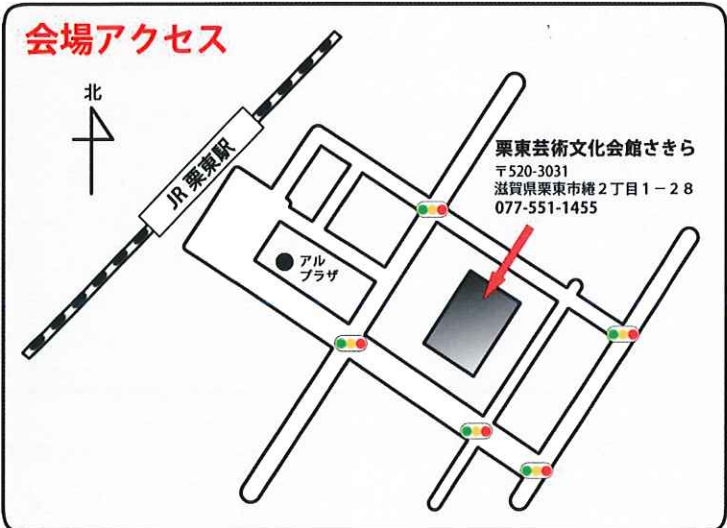
京都市立芸術大学作曲科専攻。在学中にチェロを始める。故黒沼俊夫、岩淵龍太郎、平井丈一郎の各氏に師事。京都市交響楽団に13年在籍。90年オランダ・デンハーグ王立音楽院及びアムステルダム古楽アカデミー留学。サーティフィケートを取得。東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパンで活躍。パロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、通奏低音奏者として参加。古楽アンサンブル「ザ・ガット・クラブ・バンド」主宰。鈴木秀美、J.T.リンデン、ヴィオラ・ダ・ガンバを平尾雅子の各氏に師事。室内楽を W.クイケンに師事。2017年3月まで京都フィルハーモニー室内合奏団・立命館大学交響楽団弦楽部トレーナー・におの浜弦楽アンサンブル指揮者。

にしぐさ よしこ
西口由子 (コントラバス)

同志社女子大学音楽学科を首席で卒業。読売新人演奏会、関西新人演奏会に出演。同大学《頌啓会》特別専修生修了。現在関西を中心に室内楽、オーケストラで活躍中。これまでに、西出昌弘、三宅康司、両氏に師事。立命館大学オーケストラ、橋大学吹奏部パートトレーナー。

なかの じゅんや
中野 順哉 (脚本・司会)

作家。小説を阿部牧郎、浄瑠璃台本を七世鶴澤寛治の各氏に師事。2000年、琵琶湖浄化の紙をチラシ・プログラムに使用することで演奏活動を通し年間5000トン以上の湖水を浄化するという企画を立ち上げる。2002年より各地の歴史をテーマに講談を創作したステージ「音楽絵巻」をプロデュース。上演した作品は100作以上にのぼる。2011年に大阪の室内楽団体・日本テレマン協会の代表に就任。ベッドタウンでのコミュニティー再構築や、大阪の国際発信をめざし活発に活動。同協会と関西学院大学との包括協定を実現する。その後関西学院大学学生とともに「Just Osaka」と題した動画を制作し Youtube にて配信。2015年大阪市中央公会堂を舞台にバッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲公演を毎年することをブランデンブルク州首相に宣言。民間団体による独自の都市発信に成功。2016年、高校生と各国総領事によるシンポジウムを開催。この事業は継続され 2017年には大阪府共催のもと大阪府議会議場を会場に開催された。同年独立し、「りっとう無花果コンサート」など、各地で新たなプロデュースを展開中。



りっとうの果実 いちじく

栗東いちじくは、全生産者がビニールハウスによる雨除け栽培に取り組んでいます。そのため、気象状況の影響が少なく、農薬の使用量も少なくすむため、安全・安心な「栗東いちじく」を皆様にご提供することができます。

お問い合わせは
栗東いちじく生産組合 (JA 栗東市農産課内)
TEL:077-552-0575 FAX:077-552-1018